

平成29年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

2.

学校名 稲城第三小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

住所 〒206-0801
東京都稲城市大丸100

E-mail : inagi3el0001@educet01.plala.or.jp

Website : http://academic3.plala.or.jp/inagi3el/

児童生徒数：男子 281名 女子 278名 合計 559名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、ユネスコスクールとして、ESD教育の主軸を人権教育に据えて、学校経営方針の中で謳っている。人権教育を推進している学校として「人を思いやる心」を全教育活動を通して育てている。またオリンピックパラリンピック教育推進校として日本の伝統理解や福祉についても学びながら、人権について考えている。

オリンピックパラリンピック教育講演会

年間3回の講演会を実施。スポーツの体験だけではなく他者への態度、相手を尊重する態度について考えた。またパラスポーツ選手の話聞き、障害のある方への理解を深めることができた。

人権集会 学期に1回学校長による全校児童への人権講話を行っている。また代表委員会による人権集会もあり、その集会を受けて、各学級ごとに人権について、話し合いをしたり、感想を書いたり人権について考える時間をもっている。

人権掲示板 本校には全校児童が通る2階廊下に人権掲示板がある。全学年が人権に関する学習での学びを掲示する。児童の活動の場や学習の紹介だけにとどまらず、学校を訪れる方へ、人権についての学びを発信する場になっている。

人権の花 人権の花として栽培委員会を中心に、児童が花を育てている。育てた花には植木鉢に児童一人一人が人権メッセージを書き込む。花は学区内の地域のお世話になった方や、施設や店舗におくっている。町に人権メッセージがあふれ児童と町の人をつないでいる。

1, 2年生 道徳の時間に感謝の心やともだちのいいところなどについて考えた 地域のお年寄りや幼稚園児保育園児との交流活動を通し、年齢の異なる他者への理解や思いやる気持ちを感じ学んでいる。

3年生 地域での学習を生かし、伝統的な梨農家での体験や農家の方とのふれあい 代々地域に伝わる神社の獅子舞などについて調べる学習を通して、それらに関わる人の思いや、伝統をつないできた地域の伝統を感じ学んだ。

4年生 総合的な学習の時間に、視覚障害、聴覚障害の方たちからお話を伺い、車椅子や白杖体験をした。障害への理解を深めるとともに、どのように接することが相手を思いやることなのかを考え学んだ。

5年生 総合的な学習の時間には国際理解について学習を進めた、台湾出身の方や外交

官の話やオリンピック強化選手の方の海外での体験について聞き、外国との文化の違いを考えながら、日本について考え国際理解を更に深め、学ぶことができた。

6年生 ハンセン病についての学習を進める中で、患者の方が請けた差別や、生活について考えた。施設の見学を通し、差別に対する個々の思いを持つことができ、自分で何が出来るか、将来に向けて行動を考えることができた。

特別支援学 異学年集団による授業が多く取り入れられている。高学年が低学年のお世話をし、低学年がお礼言える。友達や年齢の違うお兄さんお姉さんとのふれあいの中で、おもいやる心を学ぶことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）